

平成26年度  
太宰府市家庭系生ごみリサイクル  
社会実験事業報告書

太宰府市

平成27年3月

## 目 次

1. はじめに	1
2. 社会実験事業の概要	2
3. 社会実験事業の実績	6
1) 生ごみの収集・運搬	6
2) 事業費	8
3) 参加世帯の意見	9
4. 成果と課題	18

---

## 参考資料

1. 参加世帯募集チラシ	19
2. 説明会資料	21
3. 異物混入等についての参加世帯へのお知らせ	25
4. アンケート調査票	26
5. 生ごみステーション配置図	28
6. 収集運搬作業風景	29

## 1. はじめに

---

我が国におけるこれまでの大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会状況が続いていけば、資源の節約や廃棄物処理の限界を迎えることとなり、社会経済の持続可能な発展を妨げるおそれがあります。

こうしたことから、環境負荷を低減する循環型社会の構築を実現するために、ごみの減量やリサイクルの推進に取り組む必要があります。

太宰府市においても、将来のごみ焼却処理施設の老朽化や建替えの時期を見据え、地域に適したリサイクルシステムを模索しつつ、段階的に生ごみリサイクルの輪を広げていくとともに、生ごみリサイクルに対する市民意識の向上を図るために、太宰府市に適した都市型の家庭系生ごみリサイクルシステムを検討するにあたって、具体的なモデル事業の実施及び検証を行う必要があります。

## 2. 社会実験事業の概要

---

### 1)目的

家庭系生ごみリサイクル社会実験事業は、循環型社会の構築に向けたごみの減量やリサイクルの推進にあたって、将来のごみ焼却処理施設の老朽化や建替えの時期を見据え、本市に適した生ごみリサイクルシステムの検討のための第一歩として、平成25年度に引き続き平成26年度に実施するものです。

具体的には、①排出者である市民に担っていただく生ごみの分別・ごみ出しなどの問題や、②太宰府市が行う生ごみの収集・処理の問題、③生ごみをリサイクルして生成された肥料の活用方法、④事業コストなど実際に実施してみないとわからない具体的な課題を抽出するために、試験的に生ごみの分別収集及び収集した生ごみの堆肥化を行ったものです。

### 2)参加世帯

本事業には49世帯に参加いただきました。

生ごみを分別収集する上での様々な課題を明らかにすることが目的であることから、様々な生活スタイルの市民に参加していただくことが予想される坂本区において実施することとし、募集チラシの配布等にて坂本区内に広く参加世帯を募りました。

### 3)実施期間

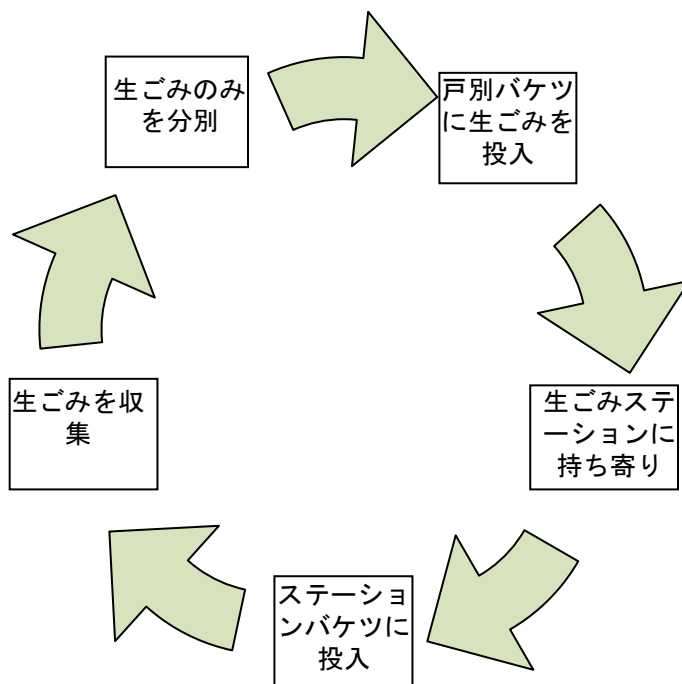
事業実施期間は平成26年7月1日(火)から平成27年2月27日(金)です。

ごみ収集の課題は季節によって異なることから、上記の夏から冬の期間にて実施しました。

#### 4)参加世帯における生ごみの分別と持ち出し

生ごみの分別については、各世帯において市が無料で提供する蓋付き密閉型バケツに生ごみのみを分別していただきました。また、生ごみの腐敗や悪臭防止のために、投入の際に極力水切りを行っていただきました。

生ごみの持ち出しについては、徒歩圏域に設定した生ごみステーションまで持ち寄っていただき、収集前日に設置する生ごみステーションバケツに投入していただきました。



生ごみの分別と持ち出しのイメージ

#### 5)生ごみの収集

生ごみ分別収集等における課題を抽出するという本事業の目的から、生ごみの収集については、太宰府市が直営で行い、収集作業については、臨時職員2名を中心に行いました。

##### (1)生ごみステーションバケツの配置

半径約50m圏域に1ヶ所の生ごみステーションを10ヶ所設定し、収集日前日の16時頃に、中にポリ袋を張った状態の生ごみステーションバケツを設置しました。

##### (2)収集の方法

生ごみの入ったステーションバケツをトラックでバケツのまま収集し、市役所において生ごみの入ったポリ袋をまとめました。



収集前日に配置する生ごみステーションバケツ

### (3)収集時間と収集曜日

朝の9時以降に収集を行いました。

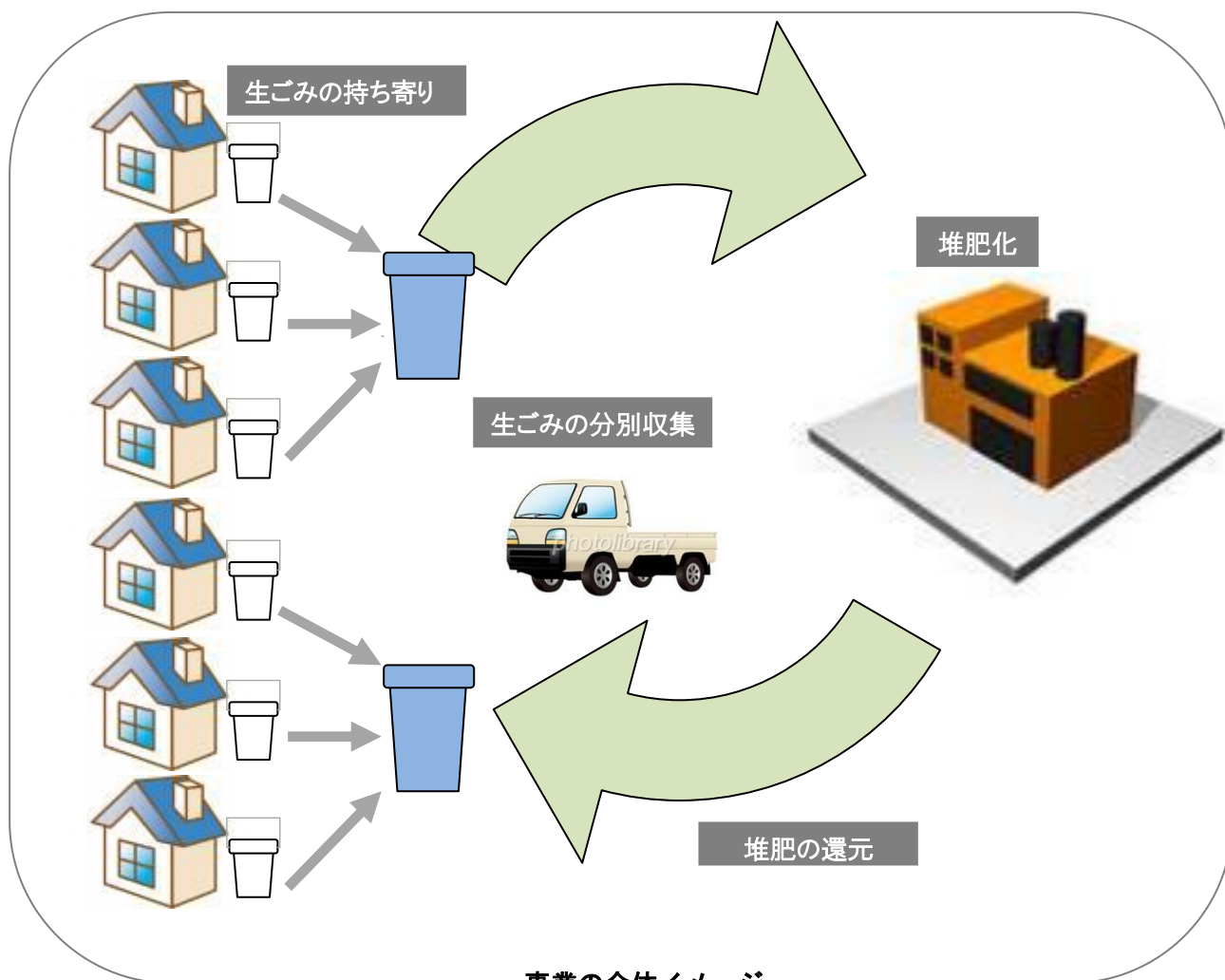
また、収集頻度については、生ごみの腐敗・悪臭防止のために週に2回とし、祝日等による収集に影響が出にくい火曜日・金曜日としました。



生ごみが入ったステーションバケツを収集する作業員

## 6)生ごみの堆肥化

本モデル事業で収集した生ごみを一括してリサイクル処理できる施設は太宰府市内には無く、本市から最も近い位置にて安定した生ごみをリサイクル処理することができる有限会社鳥栖環境開発総合センター(佐賀県鳥栖市)に、収集した生ごみを搬入し堆肥化を委託しました。



事業の全体イメージ

## 7)参加世帯への還元

生ごみを「資源」としての地域循環を行うことが重要であることから、参加世帯には生ごみから生成された肥料と花の種を還元しました。



参加世帯に還元した生ごみから生成された肥料と花の種

## 8)事業スケジュール

	H26年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
堆肥化施設との協議	↔											
堆肥化処理施設所在市との協議	↔	↔										
対象地区との協議		↔										
参加世帯の募集			↔									
参加世帯説明会			●●									
生ごみの分別収集と堆肥化				←	←	←	←	←	←	←	←	←
アンケート調査										↔		
参加世帯意見交換会												●
課題の集約											↔	

### 3. 社会実験事業の実績

#### 1) 生ごみの収集・運搬

##### (1) 収集回数と排出世帯数

64回、延2,356世帯(7,448人)の生ごみ収集を行いました。1回の収集に平均で3

6.8世帯が生ごみを排出、7.0世帯は未排出でした。

月	収集回数	延排出世帯数	1回あたり排出世帯数	延排出世帯人数	延未排出世帯数	1回あたり未排出世帯数
7月	-	-	-	-	-	-
	9	292	32.4	918	54	6.0
8月	4	152	38.0	472	28	7.0
	8	222	27.8	624	34	4.3
9月	8	346	43.3	1,136	91	11.4
	8	316	39.5	1,016	52	6.5
10月	9	388	43.1	1,292	125	13.9
	9	353	39.2	1,125	62	6.9
11月	8	349	43.6	1,137	107	13.4
	7	281	40.1	896	49	7.0
12月	8	325	40.6	1,038	107	13.4
	7	272	38.9	840	49	7.0
1月	-	-	-	-	-	-
	8	293	36.6	966	83	10.4
2月	-	-	-	-	-	-
	8	327	40.9	1,063	65	8.1
計	37	1,560	(平均) 42.2	5,075	458	(平均) 12.4
	64	2,356	(平均) 36.8	7,448	448	(平均) 7.0

上段赤書: H25年度

下段: H26年度



(2)生ごみ排出量

延べ4,070kg、収集1回あたり63.6kg、1世帯1回あたり1,727.5gの生ごみが排出されました。これは、1世帯が1日に493.6g、1人が1日あたり156.1gの生ごみを排出した計算になります。

月	排出量【kg】	1回あたり排出量【kg】	1世帯1回あたり排出量【g】	1世帯1日あたり排出量【g】	1人1回あたり排出量【g】	1人1日あたり排出量【g】
7月	-	-	-	-	-	-
	510	56.7	1746.6	499.0	555.6	158.7
8月	250	62.5	1,644.7	469.9	529.7	151.3
	470	58.8	2,117.1	604.9	753.2	215.2
9月	510	63.8	1,474.0	421.1	448.9	128.3
	470	58.8	1,487.3	425.0	462.6	132.2
10月	640	71.1	1,649.5	471.3	495.4	141.5
	530	58.9	1,501.4	429.0	471.1	134.6
11月	610	76.3	1,747.9	499.4	536.5	153.3
	550	78.6	1,957.3	559.2	613.8	175.4
12月	520	65.0	1,600.0	457.1	501.0	143.1
	490	70.0	1,801.5	514.7	583.3	166.7
1月	-	-	-	-	-	-
	550	68.8	1,877.1	536.3	569.4	162.7
2月	-	-	-	-	-	-
	500	62.5	159.1	436.9	470.4	134.4
計	2,530	68.4	1,621.8	463.4	498.5	142.4
	4,070	63.6	1727.5	493.6	546.5	156.1

上段赤書：H25年度

下段：H26年度

(3)収集運搬作業に要した時間

収集運搬作業に要した時間は、ステーションバケツの配置などの前日準備が41分、収集が34分、運搬が72分、後片付けやデータ整理に30分、合計177分でした。

平成25年度と比較すると約30%効率的に作業を行うことができました。

区間	前日準備	収集	運搬	その他	合計
H25年度	-	92分	76分	80分	248分
H26年度	41分	34分	72分	30分	177分

## 2)事業費

本事業に要した総事業費は644,584円でした。ステーションバケツなどの初期投資として購入した94,938円を除くランニングコストは549,646円となり、これは生ごみ1kgあたりに135.0円の処理費用を要したことになります。

平成25年度は生ごみ1kgあたりに150.7円の費用がかかっており、平成25年度と比較すると約10%削減することができました。

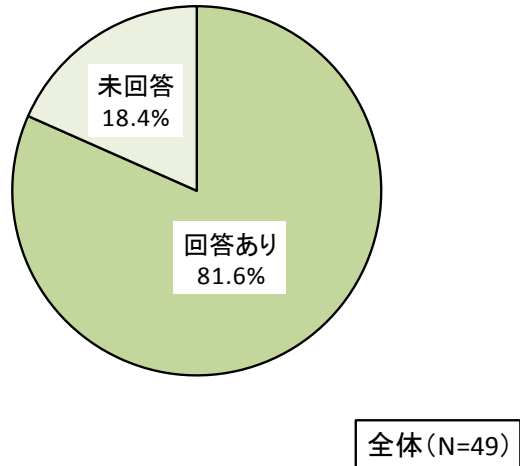
なお、参考として、現在、福岡市に委託しているごみの焼却と焼却灰の埋立費用と、ごみ収集運搬に係る費用を合計すると42.7円であり、単純に比較すると、今回の生ごみリサイクルの費用は焼却処理よりも3倍の経費を要しました。

事業費目	事業費内容	事業費【円】
人件費	賃金: $6,100円 \times 2人 \times 64日 \times 0.3807 \doteq 297,251円$ 雇用保険料: $14,885円 \times 64日 \div 244日 \times 0.3807 = 1,486円$ 労災保険料: $8,931円 \times 64日 \div 244日 \times 0.3807 \doteq 892円$ 社会保険料: $430,236円 \times 64日 \div 244日 \times 0.3807 \doteq 42,962円$	342,591
消耗品費	生ごみステーションバケツ(14個): 93,744円 洗浄用マンホールフック: 1,194円 ポリ袋、消臭剤、バケツ洗浄用具ほか消耗品: 55,503円	150,441
燃料費	$50km \times 64日 \div 8km \times 159.1円 = 63,640円$	63,640
堆肥化処理費	$4,070kg \times 20円 \times 1.05 = 87,912円$	87,912
	計	644,584

### 3)参加世帯の意見

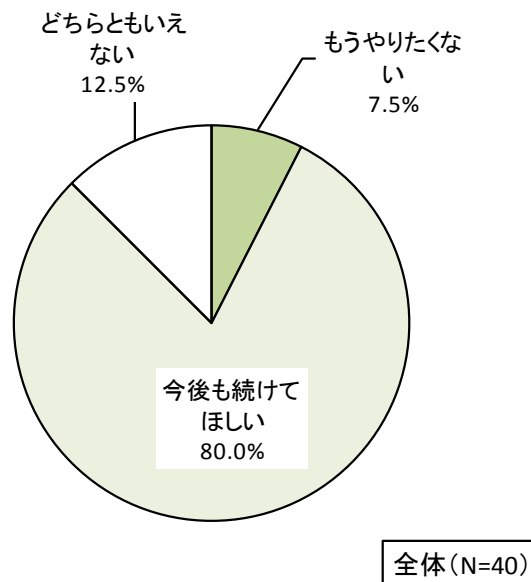
#### (1)アンケート調査

事業参加全世帯(49世帯)を対象にアンケート調査を行ったところ、40世帯(81.6%)の回答がありました。



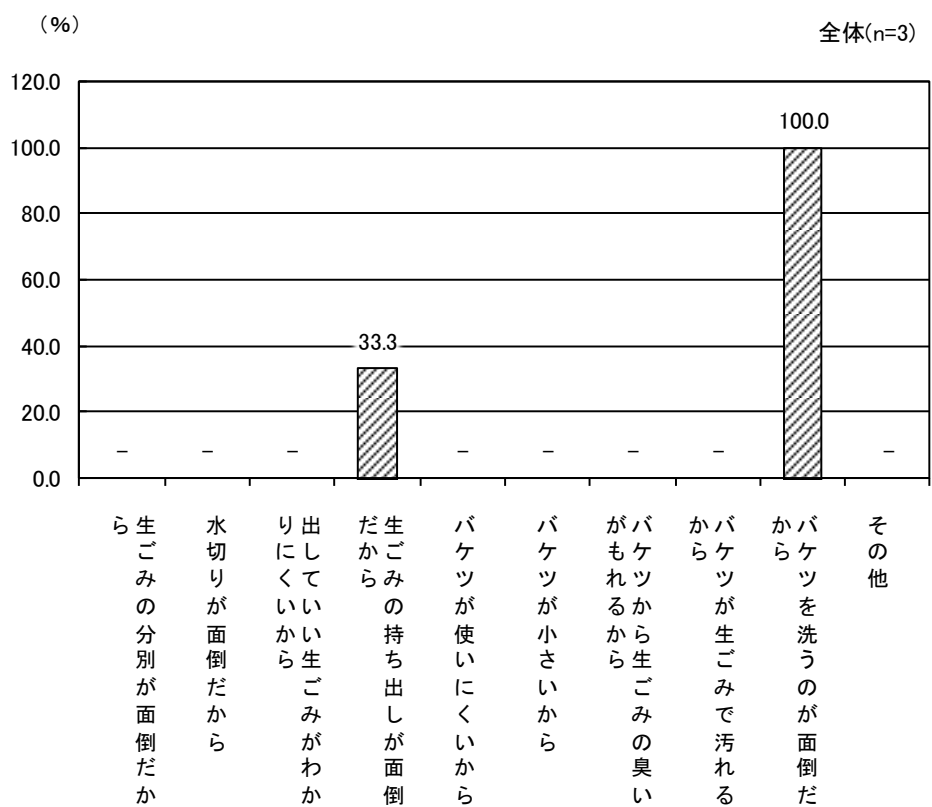
問1. 生ごみの分別収集についてどう感じましたか(○は1つ)

・今後も続けてほしい(80.0%)



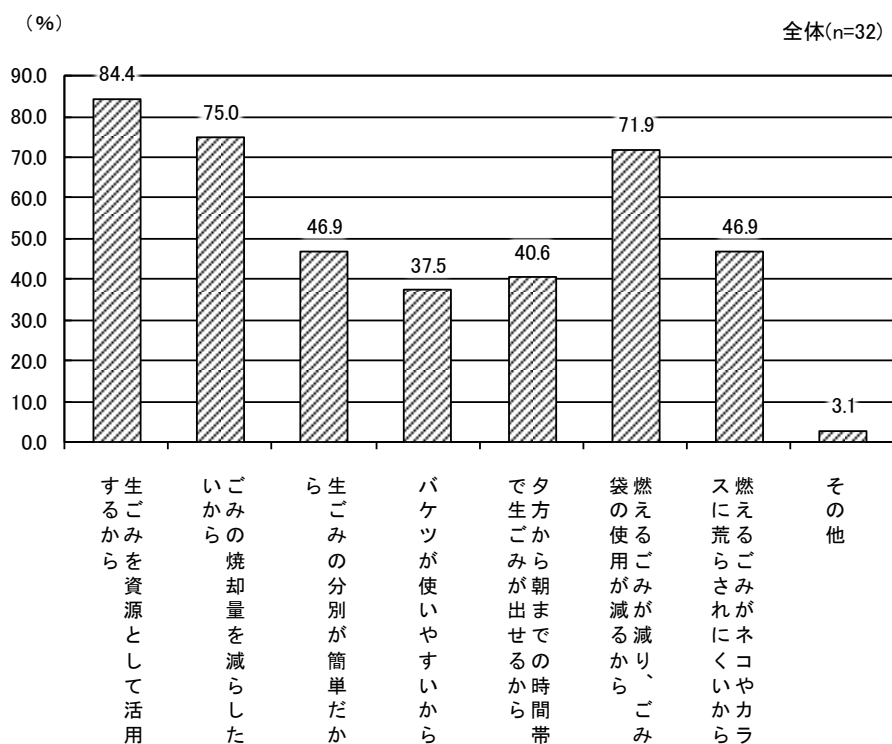
問1-1. (問1で「1. もうやりたくない」と答えた方のみお答えください。) 「もうやりたくない」理由は何ですか(○はいくつでも)

・バケツを洗うのが面倒だから(100.0%)



問1-2. (問1で「2. 今後も続けてほしい」と答えた方のみお答えください。) 「今後も続けてほしい」理由は何ですか(○はいくつでも)

- ・生ごみを資源として活用するから(84.4%)
- ・ごみの焼却量を減らしたいから(75.0%)
- ・燃えるごみが減り、ごみ袋の使用が減るから(71.9%)

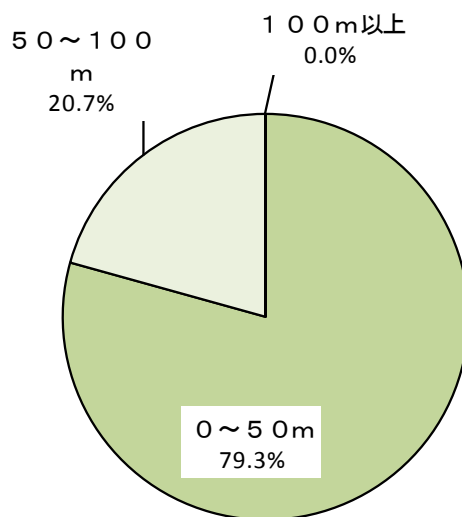


<その他>

- ・8ヶ月やってきて、自分の家の習慣になっているから

問2. ごみの持ち出し場所までの距離についてお尋ねします。ご自宅からどの程度の距離まででしたら無理なく生ごみを持ち出すことが可能ですか。(○は1つ)

0~50m(79.3%)



全体(N=29)

問3. 生ごみリサイクル社会実験について、お気づきの点、ご意見件等ございましたらご記入下さい。

#### <社会実験事業について>

- ・本当に助かってます。ありがとうございます。是非、続けたいと思います。
- ・再度挑戦してもいいです！！
- ・続けて戴けばゴミの量も減るので助かります。
- ・この方式に慣れてしまうと、ずいぶん楽で終わってしまうが残念な思い。
- ・今後も実験などあるならぜひ参加したいです。
- ・継続は資金面やその他の理由から難しいとは思いますが、毎年この様な形でいいので続けてほしい。
- ・もう終わりかと思うとさみしいです。ずっと続けたいです。
- ・大変助かっています。今後も続けていただきたい。
- ・初めは大丈夫かなと心配でしたが、やっているうちに楽しくなり、ゴミの日が待ち遠しくなりました。
- ・清潔感があり燃えるごみが破れなくて少し大変でしたけど楽しみました！！  
(台所で二つのボールに分別して)
- ・今回、初めて参加させていただいたのですが、アパートに住んでおり、さらに幼い子がいる家庭でも楽しくやれました。
- ・もう終わるんですね。モニターは今回で2回目なので前回の生ゴミの出し方の反省をいかし、スムーズに出せたと思います。
- ・2回目なので家族も協力してくれてうまくいった。
- ・思いもよらず、主人が「生ごみリサイクル社会実験もう終わるんだね～。さみしいね」と言った一言にびっくりしました。
- ・期間が終了したら自分で生ゴミをリサイクルできる方法を学んでやってみようと考えています。こんなすてきな機会をあたえて頂きありがとうございます。
- ・リサイクルすることで気持ちが豊かになります。
- ・生ゴミを資源として使うことの大切さや環境のことを学ぶ機会を増やし、市民の意識を高めることも必要だと思う。
- ・使えるものは資源として活用することはすばらしい事だと思います。
- ・今回初めて参加しました。生ゴミを資源として活用でき、又、各家庭のゴミの量も減らせるので、とても良いと思いました。
- ・資源を活用したい畑がない人にとって、生ゴミリサイクルはとてもいいと思います。

#### <社会実験事業の拡大について>

- ・実験だけにとどまらず、全市でとりくんでほしいです。
- ・次回は、もっと範囲を広げてみてはどうでしょうか。
- ・生ごみを燃やさず資源にするのは素晴らしい事だと思います。私にとって分別は苦ではないし、ごみだし回数は減るし、良い事ばかりなので広く広がると嬉しいです。
- ・もし生ゴミリサイクルが、燃えるゴミ収集のように実施されるようになったら、少し難しいと感じています。アパートのゴミ置き場を見ると、今でも燃えるゴミ・ペットボトルなどの分別ができていない方もいます。意識の問題でしょうけど。
- ・これが市民に広がればゴミを減り、地球環境を考えることにつながるので良いと思います。
- ・全世帯で分別収集するのは厳しいと思いました。生ゴミリサイクルはとても良いことだと思いますが、職員の方の稼働、生ゴミ処理のコスト、全世帯へのルールの徹底と大変ですね。

良い事だとわかっていても実行はどうでしょう。

・都府楼でもやってほしいです。

### <社会実験事業の負担について>

- ・ずーっと続けるのがちょっと負担になりますので、一年に一回が二回、春と秋とかならいいかなと思います。
- ・ゴミ袋の様なもので生ゴミを出す大きなバケツにそのままポイって入れる事ができるともつと楽ですね。
- ・大変かなと思う事もありましたが、ゴミになるより何かりサイクルできるならという思いが活力になりました。

### <バケツや臭いについて>

- ・バケツが使いやすいです。用意してもらえるので助かる。
- ・バケツは定期的に洗わないと臭いがもれそうな気がしました。(水洗いでしたが)
- ・バケツもふたがきちっとしているので、夏でもあまり臭わず、水分も下に落ちるのでよかった。
- ・結局バケツはあまり使わずビニールに入れてもって行って中身をすてていました。
- ・水切りの袋で圧縮させて(手で押す感じでも)捨てるのはどうかなあと思います。
- ・今後、また続けるならば戸建の方は良いかもしれないが、共同アパート、マンション住まいの方の対策が必要となるのでは(バケツの洗い場の問題等)
- ・マンションの人など、外で使える水道がないとバケツを洗うのが場所が困りそう?
- ・臭いも思ったよりなくて(部屋)台所に置けます
- ・夏の期間はどうしてもニオイに悩まされましたが、普通に市指定の袋で出すより、断然ニオイも少なくきれいに出来ました。
- ・バケツを外に置いておくといっそうくさくなるので室内に置いています。
- ・バケツに入れていればニオイも気にならなく、台所に置いておいても、気にならないので(場所はとりますが)良い。

### <その他の生ごみリサイクル方法について>

- ・環境の事は以前から関心があり、畑もあるので、BM菌を使って野菜くずなどは畑に返しています。2年半前くらい前からしています。ゴミもすごく減るので環境によいと思います。
- ・自宅で生ゴミリサイクルをしているので、良いことだと思っています。

### <畑づくりについて>

- ・庭のある人には、ぜひ畑づくりに役立ててほしい。
- ・畑をすることで資源の循環を感じることができ、私達人間もその一部だと実感することができる。それが環境へ思いを馳せ、他人事ではなく自分の事と思うことができ、積極的に取り組みができるようになると思います。

### <生ごみの持ち出しについて>

- ・前日に容器を置いてもらうのは良かったです。
- ・欲を言えば、夕方16時30分から生ゴミを出せると嬉しかったです。
- ・今回は夕方から翌朝まで時間が長かったので助かりました。
- ・夕方生ゴミを出し、また朝に生ゴミが多く出た時はまた出せる！良かったです！と夏などは特に思いました。
- ・前回と違って夕方～朝まで出す事ができ助かりました。



- ・ゴミ出しも毎回出さなくて2回に1回になりました。
- ・私自身はゴミ出し量が減り助かっています。週2回もありがとうございます。
- ・冬の時期は週2回でもくさくならないけど、夏の時期は2日目あたりから悪臭がする。バケツを開けると室内がくさくなる。夏は週3回の回収にできないですかね。
- ・ゴミを出す場所は私は特に遠くなく、燃えるゴミ同様週2回と不便なく出せて満足でした。
- ・拠点回収となると距離が問題になる。特に高齢者対策
- ・生ゴミを出す大きなバケツが遠いと少しめんどくさく思うかもです。
- ・皆ルールを守った様なのでゴミ箱もその辺りもいつもキレイだったので特に問題はありません。
- ・いうならやねのある所がゴミ捨て場所になっていれば雨の日もぬれずにいいかなと・・・しかし近い方が優先ではあるので・・・

### <森ん子共同保育園での参加について>

- ・今回、森ん子共同保育園から参加させていただきました。
- ・今は幼稚園に持って行っているの、ごみを出して洗って干して帰りに持って帰れるのでとても便利です。
- ・森ん子という場があったことも大きいです。

### <収集運搬作業について>

- ・生ゴミ回収作業が大変そうなので、エコの為とはいえ、少し疑問です。
- ・前回は参加していますが、今回の様に集合ゴミ出し場所まで持って行く方法の方が回収の方達の負担を軽減する為にも良いと思います。
- ・回収される方は大変だと思いつつ出しています。
- ・強風の日、バケツの底に水入りタンクを入れて飛ばない様になっている配慮にも感心させられました。お疲れ様でした。

### <事業コストについて>

- ・生ゴミリサイクルは資源の再利用、焼却量の減量化等に良い事だがコストがかかる。戸別回収が一番良いのだがコスト対策が必要。

### <カラス害について>

- ・ゴミ箱をカラスに荒らされていたのが、生ゴミをリサイクル容器に入れて室内に置かれるのでカラスの被害がなくなりました。
- ・ネコやカラスの事を考えなくてよかったので又続けて下さい。

### <その他>

- ・アンケート調査のため返信用封筒の 82 円は回収方法を考え直した方がよいと思う。
- ・前回頂いた肥料がとてもよかった。野菜が元気に育ちました。
- ・参加者からの生の声沢山集めましょう！！
- ・BM(EM)を使う時は容器が2つ必要です。容器1つ分の補助しか出なかったの、なぜ？と思いました。熊本などは2つ分の補助が出たと思いますが・・・。機械と違って値段が高いものでもないの、BM(EM)の容器は2つ分の補助が出るといいと思います。
- ・プラゴミも市役所、いきいきセンターに持って行くので我家はゴミが少ないです。

## (2)参加世帯意見交換会

生ごみリサイクルが終了した後に、坂本区公民館において参加世帯から意見を伺いました。

### <ごみ量について>

- ・ごみが半分に減った。ごみ袋代もバカにならない。

### <減量効果について>

- ・ゴミ袋を使う量や袋に入れる量が減った

### <意識啓発について>

- ・リサイクルをしないとという意識は誰もが持っていると思う
- ・前向きな意見が多いのもっとPRしながら発信をしてほしい
- ・男性の理解や意見が多かった
- ・心が豊かになった

### <臭い対策について>

- ・慣れてくると臭い対策のためにみかんの皮を入れるなどの対応をした

### <ステーション回収について>

- ・出す側としては戸別回収がいいが、収集員のことを考えるとステーションのほうがいいのかも
- ・ステーションだと高齢者が持っていくのが大変
- ・戸別回収だと、出す人の責任感が生まれる
- ・バケツに貼ってあるシールを剥がしていないと出していないと思われるプレッシャーがあった
- ・バケツに番号シールがないときがあった（間違えて別の人が剥がしたかも）
- ・ステーションになったら生ごみの内容を気にした
- ・バケツを開けた時に豆腐とかがあると勿体ないという気持ちもあった（ステーションだと他の家庭から出したごみを見られてしまう）
- ・夕方からバケツを置いてもらったので回収までの時間があつたので余裕があつた（回収までの間に何回も出しに行けた）

### <回収頻度について>

- ・出す回数を増やしてみても（臭いがあるため夏場は2回から3回へ）
- ・可燃物の回収が週2回だからそのままでいいのではないか
- ・ゴミ出し日に合わせるか、別の日で行うのか
- ・生ごみの日とそれ以外の可燃物の日を分ければ何度もごみが出されるという柔軟性も生まれていくのではないか

### <共同住宅について>

- ・肥料や花の種は集合住宅では使いづらい

### <プレゼントの肥料と花の種について>

- ・肥料の臭いが気になった

### ＜今後の実験について＞

- ・ 来年度も坂本地区で行うのか？
- ・ 今後別の場所ですのであればルールを明確にすべき
- ・ 坂本地区以外の人と話をしたときにうらやましがられた
- ・ 肥料を使って各区内でグリーンカーテン等の利用に役立ててみては
- ・ リサイクル農園を坂本地区で作ってみては
- ・ 市が買い上げた土地を畑などに利用できないか
- ・ もっと地域に広げていきたい
- ・ 100 世帯はこの事業に参加をしてほしい

## 4. 成果と課題

### 1) 成果

本実験の実施により、下記の成果を得ることができました。

- ① 地域と連携した呼びかけにより、平成25年度よりも参加世帯に負担を伴う実験にも多くの世帯に参加いただくことができました。
- ② 実験への参加やアンケートへの回答からも、生ごみリサイクルや資源循環に関する市民の意識の高さがうかがえます。
- ③ 多くの参加世帯からこの事業の継続を支持されました。
- ④ 生ごみの分別収集により、可燃ごみの減量効果が高いと、参加世帯から評価されました。
- ⑤ 生ごみの分別については、慣れればそう難しくないとの意見が多く聞かれました。
- ⑥ 生ごみの腐敗と臭いが最も厳しい夏場においても、この実験方法で大きな問題なく実施することができました。
- ⑦ 生ごみステーションバケツまでのごみの持ち出しについても、50m以内であればほとんどの方に理解をいただけることがわかりました。
- ⑧ ステーション回収を行うことにより、戸別回収よりも約30%の作業時間の短縮と約10%のコストダウンを行うことができました。
- ⑨ 収集前日に生ごみステーションバケツを配置することで、参加世帯の生ごみ持ち出しが行いやすくなり、ステーション収集の理解を得ることができました。

### 2) 課題

本実験の実施により、今後の生ごみリサイクルの検討にあたって、下記のような課題が明らかになりました。

- ① 25年～30年後の将来のごみ焼却処理施設の老朽化や建替えの時期を見据え、焼却ごみの減量、焼却灰の埋立量の減量といった将来の環境負荷の軽減、また、焼却炉の規模の縮小と建設経費の軽減を目指し、今の時期から生ごみリサイクルとその循環について、どういったことができるかを検討することを目的とした実験の必要性を、関係者が明確に共有する必要があります。
- ② 安全で高品質の生ごみの堆肥化のためには、異物の混入を防止し、高い分別精度が求められ、また、そのための参加世帯への周知方法の検討が求められます。
- ③ 将来の環境負荷軽減等が目的とはいえ、通常の可燃ごみ処理よりもコストが3倍近くかかっているため、より効率の良い方法の検討が求められます。
- ④ 共同住宅での実施については、他の入居世帯、管理組合や管理会社等の理解に配慮する必要があります。
- ⑤ 生ごみを地域内で花や農作物として循環する仕組みの検討が必要です。

## 参考資料



## 1. 参加世帯募集チラシ

**参加者募集!**

大好評でしたので、今年も行います!

# 坂本だけの 生ごみリサイクル 社会実験! 第2回

参加世帯には生ごみからできる有機肥料と花の種をプレゼント!!

昨年度と少し方法が変わります!  
今回は、前日に置いておく大きなバケツに、生ごみをお持ち寄りいただく方法となります

- ◇募集期間 5月26日(月)～6月6日(金)
- ◇募集世帯 100世帯(申込み多数の場合は抽選となります)
- ◇実施期間 平成26年7月～平成27年2月
- ◇申込方法 申込用紙を切り取って、高瀬自治会長か隣組長に持参するか、市役所生活環境課に電話でお申込み下さい。

※参加者を対象に、坂本区公民館において  
 ・平成26年6月21日(土) 14時～  
 ・平成26年6月23日(月) 19時～ にて詳しい説明会を開催します。

問い合わせ先: 高瀬自治会長 TEL:921-0537

太宰府市 地域健康部 生活環境課 ごみ対策係 担当:大石、山崎 TEL:921-2121

----- きりとり線 -----  
**申 込 用 紙**

名前		電話番号	
住所		世帯人数	人

詳細は裏面をご覧ください

# 生ごみリサイクル社会実験って何？！

## ■全世帯が参加しなければならないの？

いいえ。参加を希望される世帯のみを対象に行う実験事業です。

## ■どうやって生ごみを分ければいいのか？

臭いがもれない密封できるフタ付きの容器を市から無償でお配りします。その容器に生ごみだけを入れて分別して下さい。

## ■どこに生ごみを出せばいいのか？

坂本区内に、100メートルに1箇所程度、生ごみ収集用の大きなバケツを設置しますので、そこまで生ごみをお持ち寄り下さい。

## ■いつ生ごみは収集されるの？

毎週火曜日と金曜日の朝9時以降に市の職員がトラックで生ごみを収集します。

## ■いつ生ごみを出せばいいのか？

収集日の前日の夕方に生ごみ収集用のバケツを設置しますので、  
・月曜日の夕方から火曜日の午前9時まで  
・木曜日の夕方から金曜日の午前9時まで の時間帯に生ごみを出して下さい。

## ■参加世帯の手間になることは？

生ごみを容器に入れる時にできるだけ水を切っておくことと、生ごみ収集用バケツの設置場所まで生ごみを持ち寄ることについては、各世帯においてお願いいたします。それと、後日実施するアンケートにご協力をお願いいたします。

## ■参加世帯で費用がかかることは？

生ごみを入れる容器は市から無償でお配りします。費用は一切かかりません。

## ■収集した生ごみはなるの？

堆肥化施設において肥料にし、参加世帯には肥料を後日プレゼントさせていただきます。



生ごみからできる有機肥料



密封型生ごみ分別バケツ





## 生ごみリサイクル社会実験の実施方法

### 1. 実験の実施期間

平成26年7月1日（火）から  
平成27年2月27（金）までの期間で実施  
します。

### 2. 生ごみの持ち出し

(1)持ち出し日時

月曜日の夕方から火曜日の午前9時まで  
木曜日の夕方から金曜日の午前9時まで  
に生ごみを出して下さい。

※別紙カレンダーをご参照ください。

※生ごみ収集休み： 8月15日（金）  
9月23日（火）  
11月25日（火）  
12月23日（火）  
12月30日（火）  
1月 2日（金）

## (2)持ち出し場所

月曜日と木曜日の夕方に設置する**生ごみステーション**バケツまで**生ごみ**をお持ち寄り下さい。

※別紙の地図と写真をご覧ください。

## (3)持ち出しの方法

生ごみステーションバケツに**生ごみ**だけを投入して下さい。

※**生ごみ以外のごみは、通常の夜のごみの収集に出して下さい。**

※生ごみを投入した後、**バケツに貼っている番号シール**をお持ち帰り下さい。

※ステーションバケツの利用が1世帯のみの場合はシールはありません。

## 3. 生ごみの収集について

**火曜日と金曜日の午前9時以降**に順次、市職員がトラックで**生ごみステーションバケツ**を**収集**していきます。

## 4. 生ごみ分別の方法

入れられるもの	入れられないもの
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 野菜くず</li><li>・ 食べ残し</li><li>・ 魚の骨、あら</li><li>・ 鳥の骨</li><li>・ 果物</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 割りばし</li><li>・ つまようじ</li><li>・ スプーン</li><li>・ フォーク</li><li>・ バラン</li><li>・ 水切りネット</li><li>・ 草・花</li><li>・ 落ち葉</li><li>・ 木の枝</li><li>・ 木の实</li><li>・ 調味料だけ</li><li>・ 貝がら</li><li>・ 天ぷら油</li></ul>

※できるだけ水を切って下さい。

## 5. その他

(1)生ごみ分別用バケツは、各世帯に1個ずつ配布いたします。

※バケツが1個で足りない場合、バケツの追加はできます。

(2)生ごみ分別バケツに記載している番号は、各参加世帯ナンバーです。

(3)参加世帯には、後日、アンケート調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

(4)参加世帯には、生ごみからできる有機肥料(15kg)と花の種をプレゼントいたします。

※プレゼントのお渡しは来年の2月を予定しています。

### 3. 異物混入等についての参加世帯へのお知らせ

お知らせ

# 坂本だけの 生ごみリサイクル 社会実験!

坂本区において、7月から46世帯にご協力いただいてスタートした生ごみリサイクル社会実験の途中経過をお知らせします。

#### ■7月、8月の生ごみ排出量

7月、8月の17回の収集で、延べ514世帯、980kgの生ごみが排出されました。これらは全て鳥栖市内の工場に搬入され、堆肥化されております。

月	収集回数	延排出世帯数	1回あたり排出世帯数	排出量【kg】	1回あたり排出量【kg】
7月	9	292	32.4	510	56.7
8月	8	222	27.8	470	58.8
計	17	514	30.2	980	57.6

#### ■生ごみ以外の混入について

8月19日、ステーションバケツに投入された生ごみを調査したところ、金属製フォーク、新聞紙、ビニール製調味料袋などが混入しておりました。生ごみを分別される際には、生ごみ以外が混入しないように今一度ご確認下さい。



問い合わせ先： 太宰府市 地域健康部 生活環境課 ごみ対策係 担当：大石、山崎 TEL：921-2121

## アンケートにご協力ください

○ご多忙のところ恐縮ですが、実験の主旨をご理解いただき、うら面のアンケートにご協力ください。

○設問にそってご記入いただき、同封の返信用封筒で、  
平成27年2月13日(金)までに、郵便ポストに投函ください。

### ★ご記入上の注意

1. 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をつけて下さい。  
質問文章に「○は1つ」、「○はいくつでも」など指定がある場合は、その指定どおりにお答え下さい。
2. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、指示にそってお答え下さい。
3. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）内に具体的にご記入下さい。

## 生ごみリサイクル社会実験アンケート調査

問 1 生ごみの分別収集についてどう感じましたか（○は1つ）

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. もうやりたくない  | →問 1-1 へ |
| 2. 今後も続けてほしい | →問 1-2 へ |
| 3. どちらともいえない | →問 2 へ   |

問 1-1（問 1 で「1. もうやりたくない」と答えた方のみお答えください。） 「もうやりたくない」理由は何ですか（○はいくつでも）

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 生ごみの分別が面倒だから      | 2. 水切りが面倒だから      |
| 3. 出している生ごみがわかりにくいから | 4. 生ごみの持ち出しが面倒だから |
| 5. バケツが使いにくいから       | 6. バケツが小さいから      |
| 7. バケツから生ごみの臭いがもれるから | 8. バケツが生ごみで汚れるから  |
| 9. バケツを洗うのが面倒だから     |                   |
| 10. その他（             | ）                 |

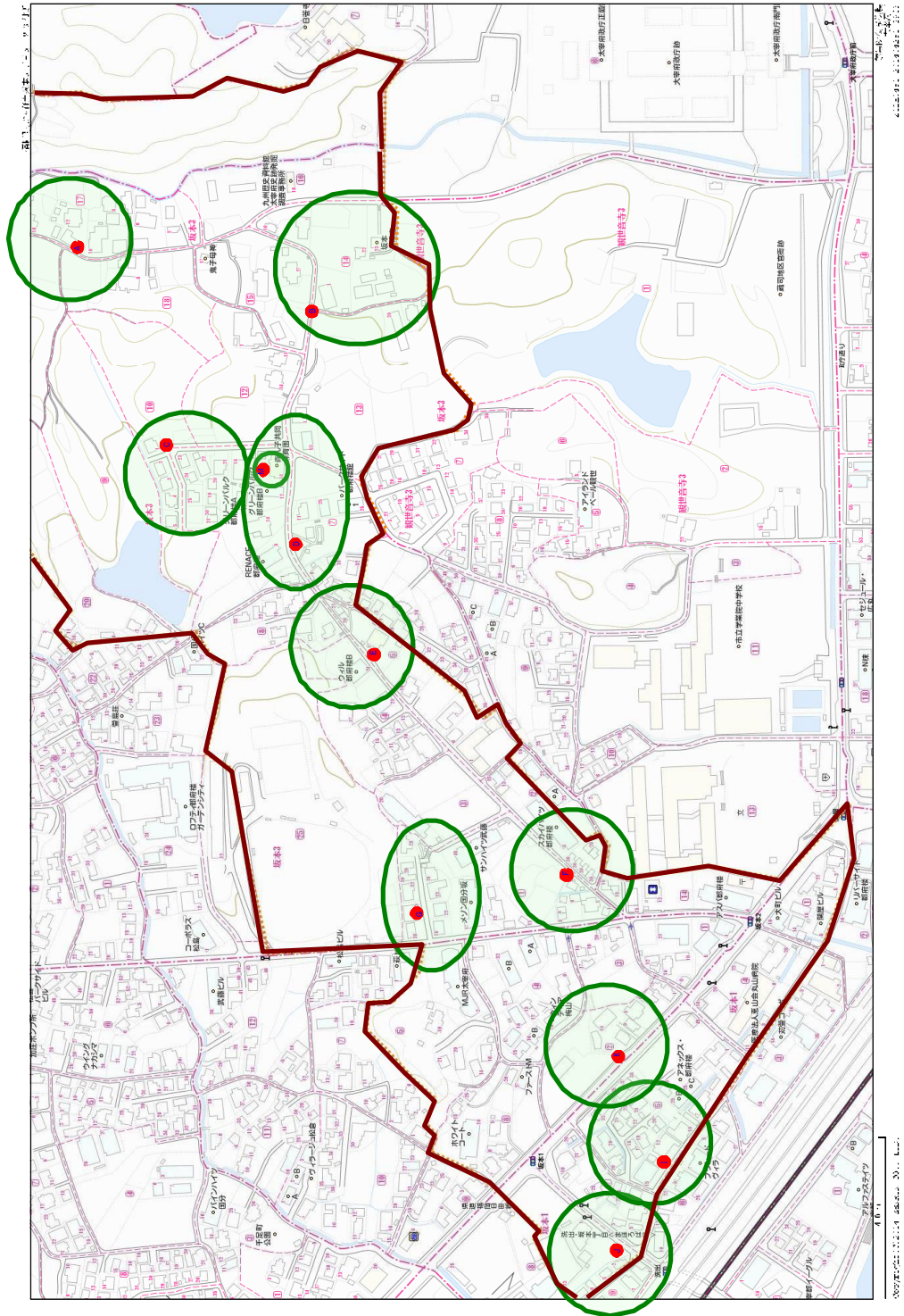
問 1-2（問 1 で「2. 今後も続けてほしい」と答えた方のみお答えください。） 「今後も続けてほしい」理由は何ですか（○はいくつでも）

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 生ごみを資源として活用するから        | 2. ごみの焼却量を減らしたいから |
| 3. 生ごみの分別が簡単だから           | 4. バケツが使いやすいから    |
| 5. 夕方から朝までの時間帯で生ごみを出せるから  |                   |
| 6. 燃えるごみが減り、ゴミ袋の使用が減るから   |                   |
| 7. 燃えるごみがネコやカラスに荒らされにくいから |                   |
| 8. その他（                   | ）                 |

問 2 生ごみリサイクル社会実験について、お気づきの点、ご意見等ございましたらご記入下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。  
お手数ですが、同封の返信用封筒で、2月13日（金）までにご投函下さい。

## 5. 生ごみステーション配置図





## 6. 収集運搬作業風景

